一人ひとりが**役割**をもって**自ら取り組める**活動







役割を見つけ

在宅生活への自信に繋がる活動を



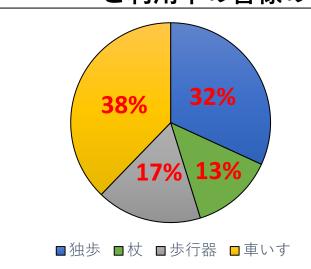
共生デイアルク

アルクリハビリ広報誌

R6.7月号

下記の図は現在アルク

ご利用中の皆様の移動手段を集計してみました



皆に同じ リハビリをするの?



移動手段や目的に 応じて リハビリの内容も 変化するよ

今回は独歩や歩行に不安のある方に対して、歩行安定性の向上や身体機能の向上等を目的とした専門職の取り組みをご紹介します。



フレイル予防

利用目的



他者交流



社会参加

フレイル予防として

評価

機器による測定

機能訓練





毎月 体力測定 を行って います









体組成計で 健康チェックも可能 各種運動

マシーンも豊富

専門職による運動負荷量の調整















集団体操では 姿勢やバラン スの評価も出 来る

他者交流として

作る

食べる

話す







イベント を通じて 手指機能 等を実施

社会参加として

外出

家事

気分転換









各種運動を行い、様々な場所への外出訓練

役割をこなすことでの<mark>社会参加</mark>

身体機能の維持・向上だけでなく、

それぞれの<u>目標・願いを達成すべく</u>リハビリ専門職が 評価・治療を行ってまいります

火曜日・金曜日は午前、午後の半日利用が可能です。 短い時間の中でも有意義な運動プログラムをご提案させ ていただきます。